

2025年3月期 決算説明資料

2025年5月13日

2025年3月期 連結決算概要と来期予想

2024年度実績

- 港湾運送部門における沿岸作業およびアジア地域での取扱いの増加に加えて、為替レートが円安に推移したことにより増収 ↑
- 米国およびアジア地域が好調に推移し営業利益以下増益 ↑

来期予想

- 米国の通商政策や地政学的リスクなど下振れる懸念はあるが、港湾取扱貨物量は昨年並みを予想し、売上高も同様に予想 →
- 人件費および資材等の高騰により営業利益は減益を予想 ↓
- 株主還元方針の変更により24円増配予定 ↑

	2023年度		2024年度		前期比 増減		2025年度 通期予想	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	増減率	金額 (百万円)	前年実績比
■ 売上高	77,698	100.0%	81,485	100.0%	+ 3,786	+ 4.9%	81,000	△ 0.6%
■ 営業利益	5,265	6.8%	6,271	7.7%	+ 1,005	+ 19.1%	5,900	△ 5.9%
■ 経常利益	6,536	8.4%	7,981	9.8%	+ 1,445	+ 22.1%	7,500	△ 6.0%
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	4,541	5.8%	5,380	6.6%	+ 838	+ 18.5%	5,200	△ 3.3%
■ 1株当たり配当金	38円		46円		+ 8.0円	+ 21.1%	70円	+ 52.2%

部門別売上高および主な増減要因

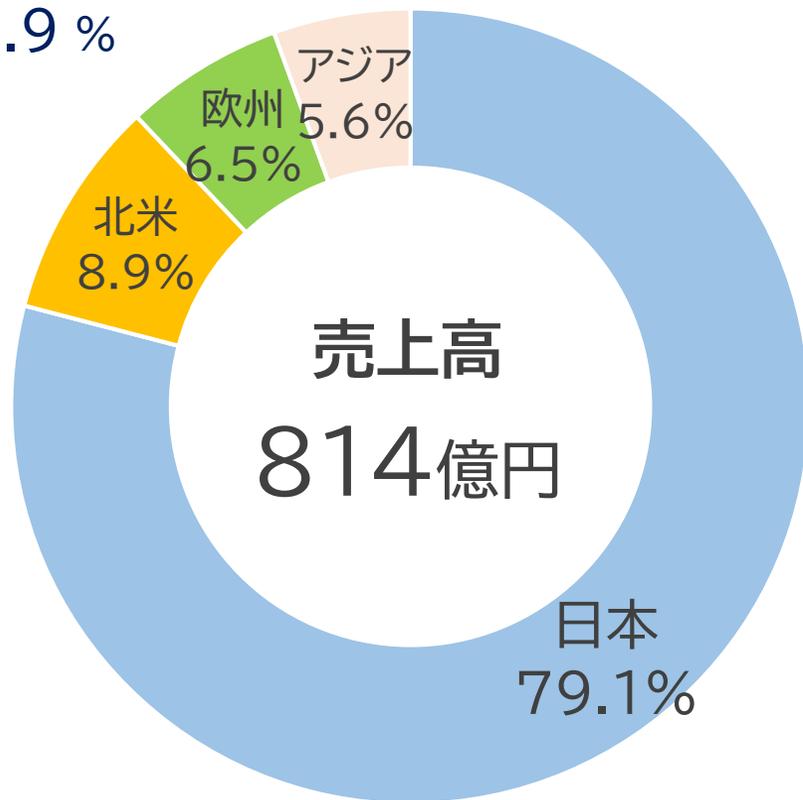
(単位:百万円)

セグメント	部門名	2024年度 (前年同期比)	主な増減要因
港湾運送 および その関連	港湾運送部門	49,749 (+3,655 / +7.9%)	<ul style="list-style-type: none">・沿岸作業の増加・アジア地域での貨物取扱いが好調
	倉庫保管部門	10,129 (△498 / △4.7%)	<ul style="list-style-type: none">・国内および欧米における保管貨物の減少
	陸上運送部門	12,307 (△230 / △1.8%)	<ul style="list-style-type: none">・内国貨物輸送および欧州域内輸送の減少
	航空貨物運送部門	3,378 (+696 / +26.0%)	<ul style="list-style-type: none">・国内外ともに航空貨物需要の回復により増加
	その他の部門	4,243 (+186 / +4.6%)	<ul style="list-style-type: none">・内航海上運送の減少・梱包作業の増加
		79,807 (+3,808 / +5.0%)	
賃貸		1,677 (△21 / △1.3%)	<ul style="list-style-type: none">・倉庫賃貸面積の減少

連結業績 エリア別割合

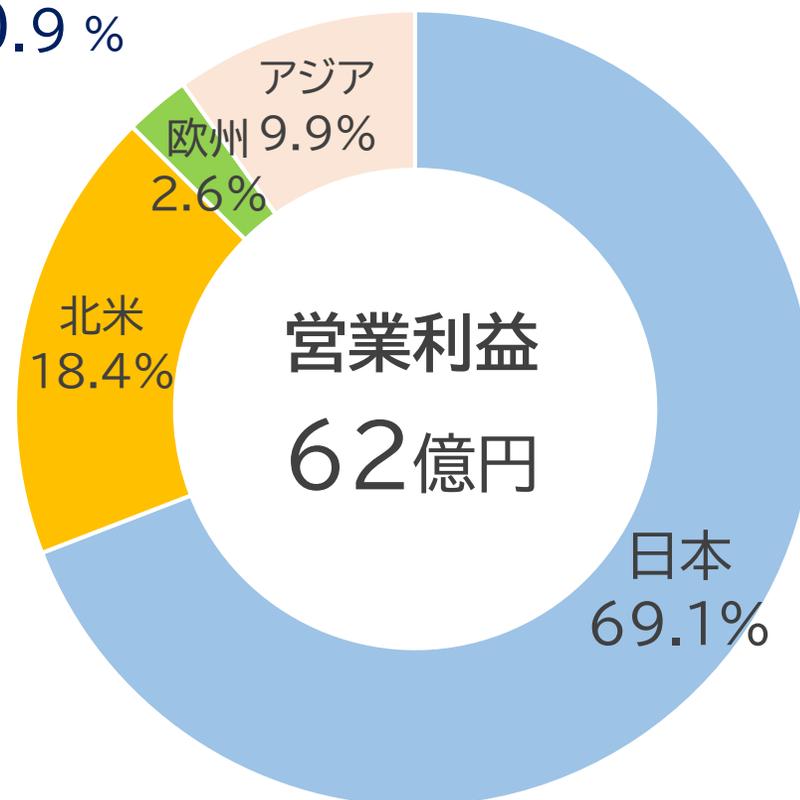
海外割合

20.9%

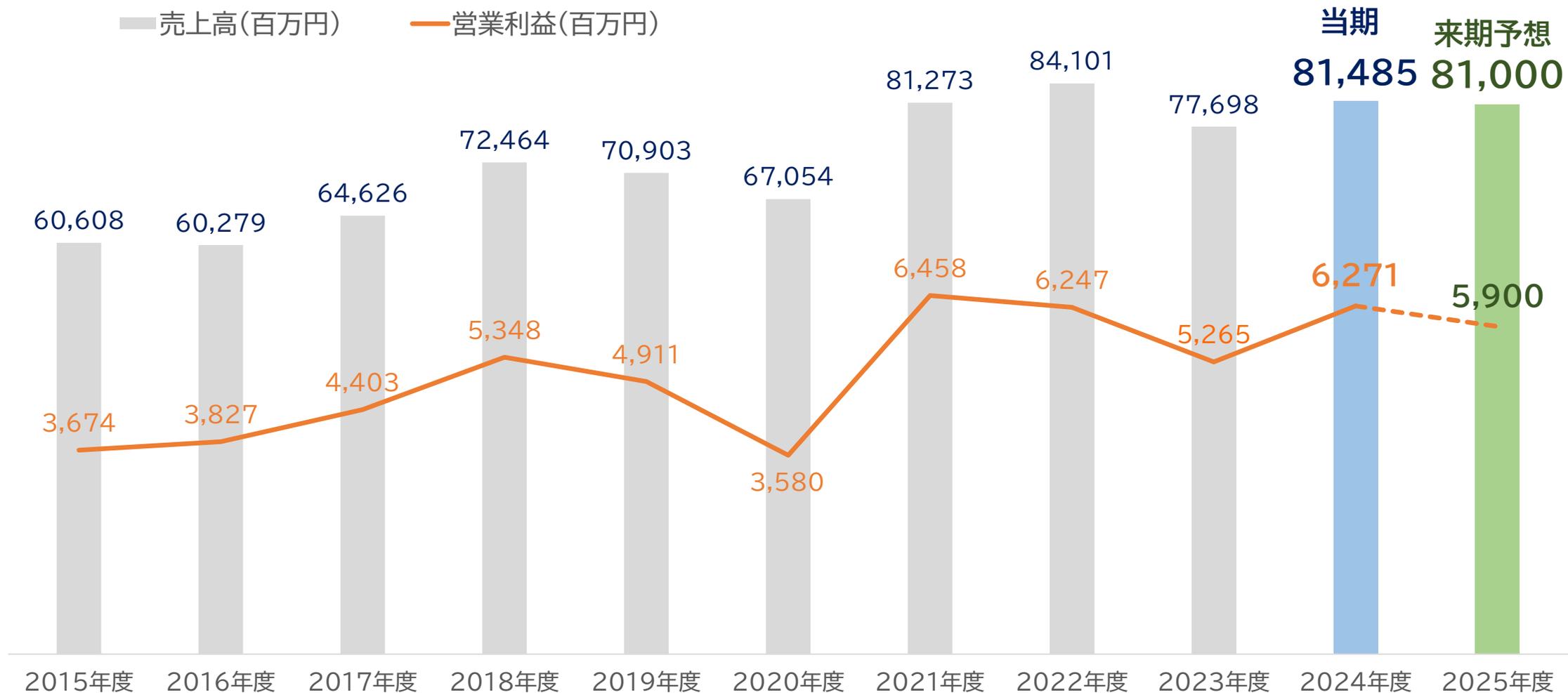


海外割合

30.9%



連結売上高および営業利益の推移

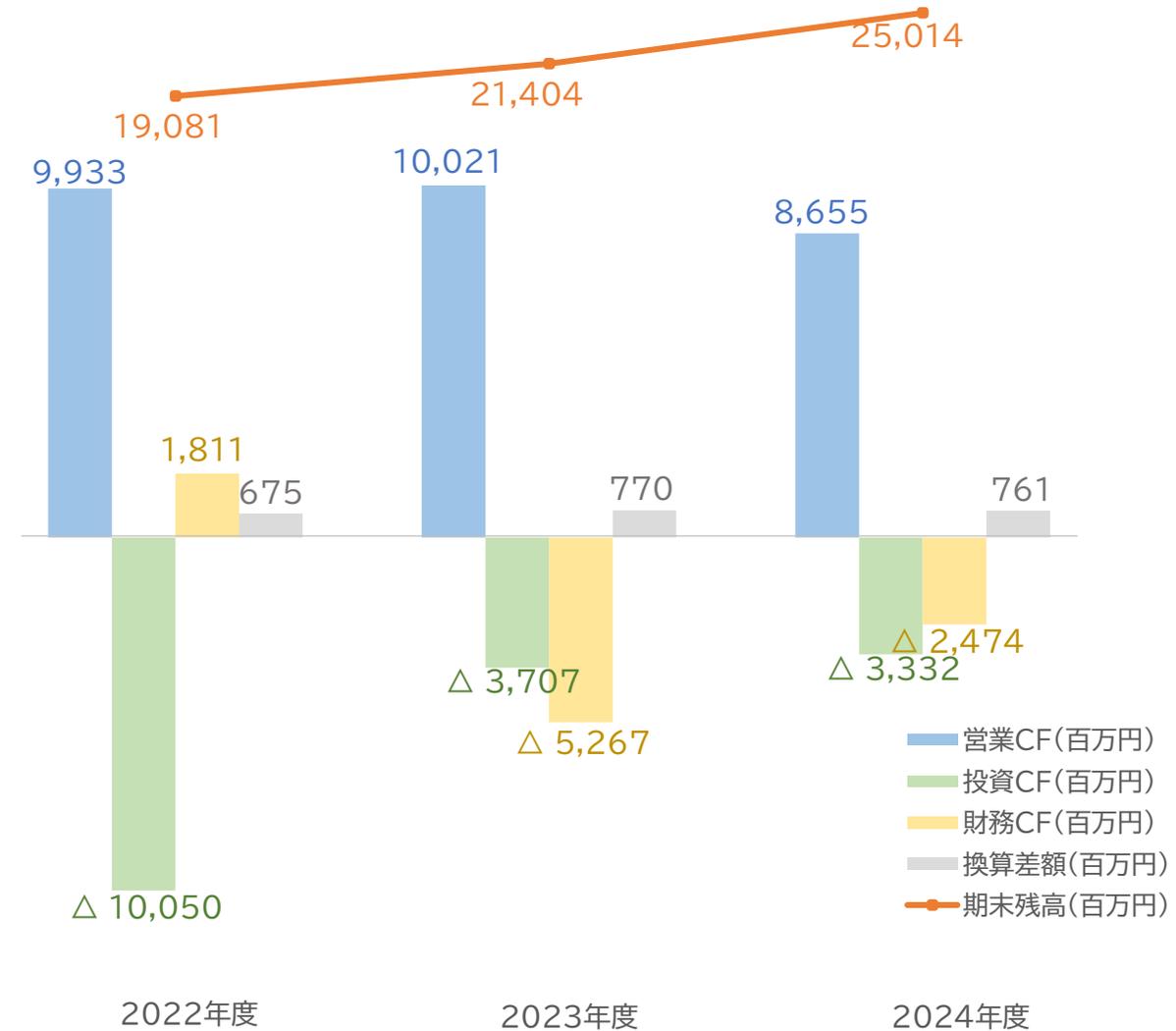


設備投資の推移

- 大型投資案件が続き、一服感はありますが、引き続き、名古屋港 東側エリアの創業期からの倉庫の再編や顧客ニーズを捉えて海外や内陸拠点の拡充を図っていきます
- 施設新設時には当社のサステナビリティ方針に基づいて、環境への配慮とBCP体制強化に取り組んでまいります

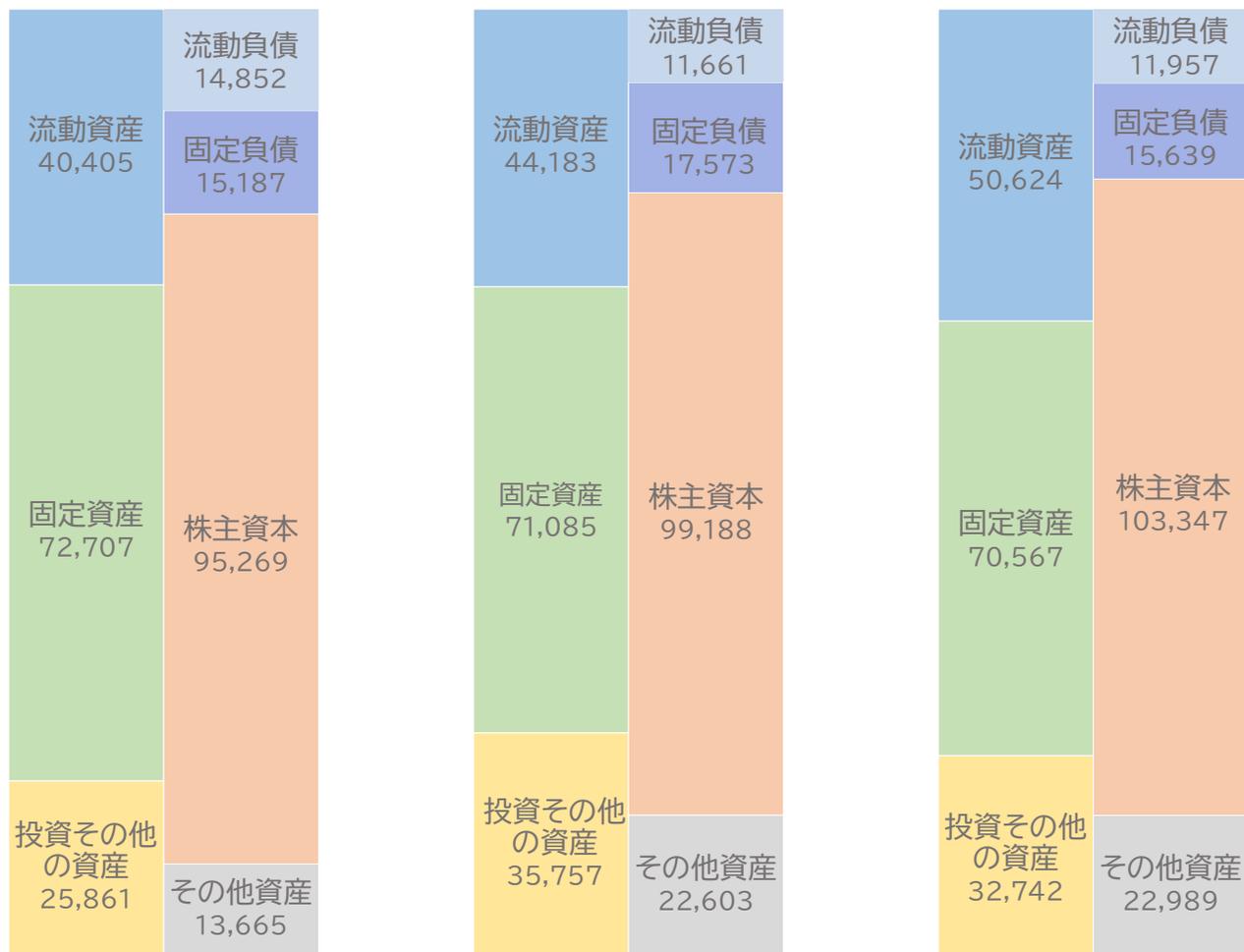


連結キャッシュ・フローの推移



連結貸借対照表の推移

(単位:百万円)



2022年度末

2023年度末

2024年度末

2023年度末と2024年度末の比較 (主な変動要因)

流動資産

- 現金及び預金の増加 (+5,681)

固定資産

- 建築及び構築物の減少 (△809)

投資その他の資産

- 投資有価証券の減少 (△3,175)

流動負債

- 未払金の減少 (△282)
- 賞与引当金の増加(+215)

固定負債

- 長期借入金の減少 (△766)
- 繰延税金負債の減少 (△498)

株主資本

- 利益剰余金の増加 (+4,095)

その他資産

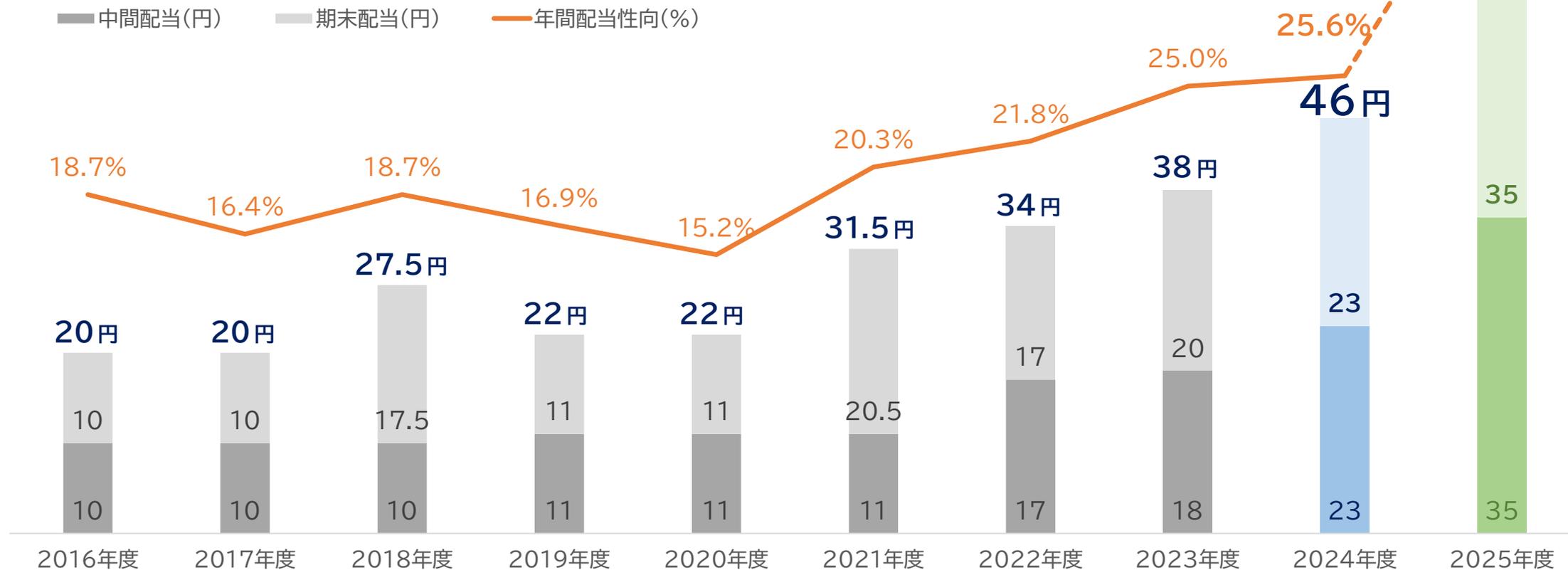
- その他有価証券評価差額金の減少 (△2,347)
- 為替換算調整勘定の増加(+1,996)

配当金および配当性向 推移

■ 本日公表の「株主還元方針の変更に関するお知らせ」のとおり、2025年度より株主の皆様への利益還元をさらに充実させるため右記の株主還元方針に変更いたします

株主還元方針

当社グループは、株主の皆様への利益還元が経営上の重要課題の一つと認識しており、将来の事業展開や設備投資、大規模災害への備えとして内部留保の充実を図りつつ、**配当性向40%、DOE(株主資本配当率)2%のいずれか高い水準を目安**に、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております



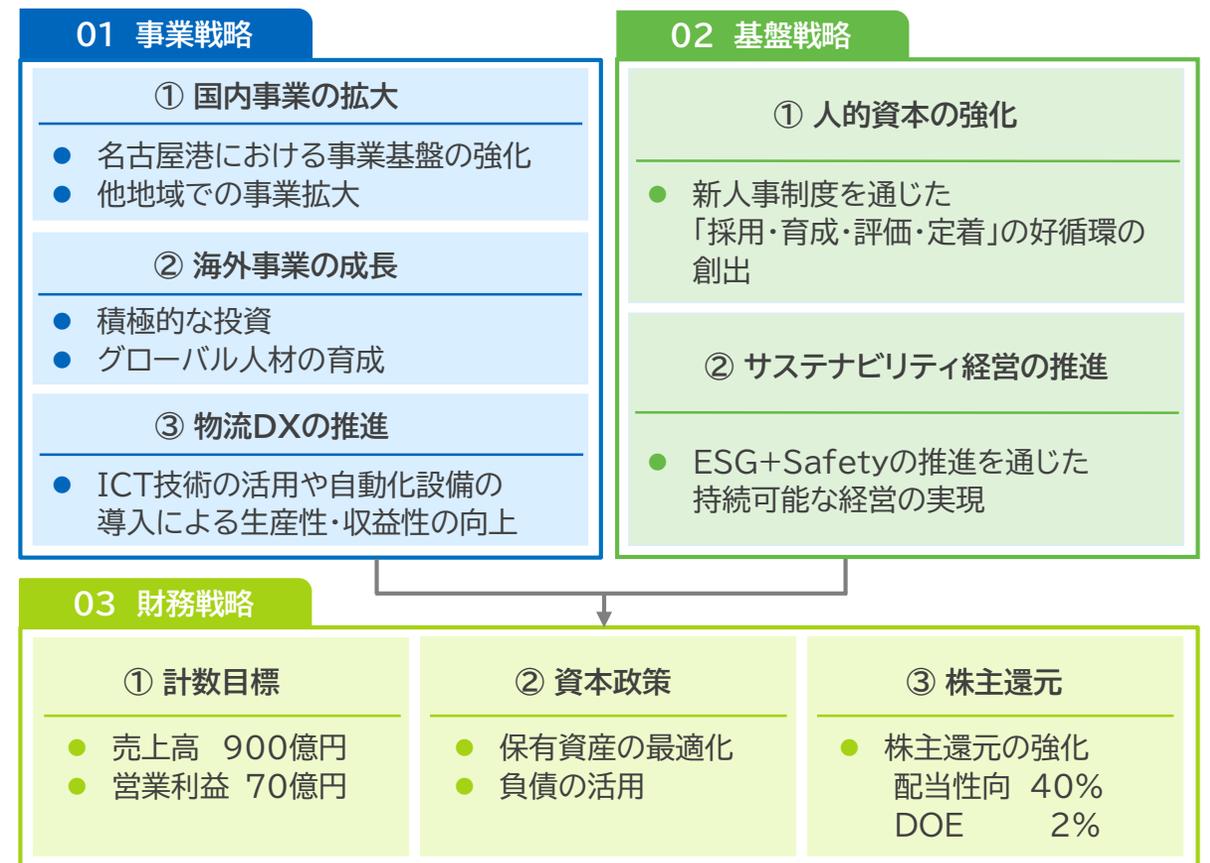
※2025年度の中間・期末配当、年間配当性向は予想値

■ お客様の多様化するニーズに対し、よりの確かつ迅速に応える体制を構築することで、事業の成長と収益性の向上を両立するとともに、資本効率を意識した経営を推進し、利益還元の充実を図り、ステークホルダーの皆様の期待に応えてまいります

MX2029 策定プロセス



MX2029 基本戦略



MX2029 に関するより詳しい内容につきましては、2025年5月13日に公表いたしました資料をご参照下さい

【ご注意】

当資料は、名港海運株式会社(以下、「当社」という)へのご理解を深めていただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載されている将来にわたる事項については、2025年5月13日現在において入手している情報に基づいて、当社が予測および判断したものであり、様々なリスクや不確定要素に左右され異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。当社は、これら将来にわたる事項について、内容の確約・保証および情報を訂正する一切の義務を負いません。

投資・その他のご判断については、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

TOTAL LOGISTICS PARTNER

 **MEIKO TRANS**